

岡山県中小企業診断士会会報 ●●●

一般社団法人 岡山県中小企業診断士会

2015 年 12 月 15 日発行（第 8 号）

ごあいさつ

さらに謙虚な姿勢をもって、品質保証に取り組んでいく



■□代表理事・会長

児玉 健治□■

《雨のち曇りから晴れ、そして快晴、猛烈な追い風も》

昨年 12 月の会報で、「我が国においても、数年間続いた、訳のわからない逆風

から一転、中小企業診断士の価値を改めて評価し、中小企業の経営支援において真ん中に位置する役割を世間も認識してくれるようになってきました」とあいさつ文中で述べさせていただきましたが、この流れはますます加速しているように思います。

今は「快晴、猛烈な追い風に注意」という表現がまさにぴったりです。

「中小企業・小規模事業者の成長戦略を支援できるのは診断士だけ」と主張し続けてきましたが、急速に浸透し、理解が深まっているという手ごたえを感じています。このこともあり、今年度の岡山県診断士会は、多くの事業受託、そして提携のオファーをいただき、近年まれにみる忙しさであったように思います。

《実際に評価を受けることに》

事業受託、提携等で、今まで縁のなかった方々と接して、診断士としての仕事ぶりを見ていただく機会が増大します。これは「評価」される機会が増していることを意味します。よい評価も悪い評価もされてしまいます。

診断士会として「品質保証をしなければ・・・」

との議論が全国の県協会で盛り上がっています。診断士会として受けた仕事についてはその品質についても保証し、評価を受けなければならないからです。

多くの方々に診断士の仕事ぶりを見ていただく大きなチャンスでもあります、万が一にも落胆させて不合格の評価を受けてはなりません。せっかくの大きなチャンスの時です。高い評価を受けて、「中小企業・小規模事業者の成長戦略を支援できるのは診断士だけ」を盤石なものにしていきたいと思います。

《岡山県診断士会としての環境づくり》

少し慎重な表現になったかもしれませんが、内心では診断士が登場する場を増やせば増やすほど、診断士への評価が高まると確信しています。自信あります。診断士会として全力で会員の皆様が活躍する場を増やしていきたいと思っております。岡山県診断士会では、プロコン診断士は「稼げる」、開業間もないプロコン診断士は「食える」、企業内診断士は「輝ける」の新・3Kを標ぼうしておりますが、この通りに進んでいきます。

12 月 2 日に岡山県診断士会は経営革新等認定支援機関として認定されました。さらに活躍の場を広げていけるでしょう。

来年はさらによい年になります！間違いありません！！頑張ってください！！！！



新会員ご紹介

■□ 高橋 宏和 □■

平成 27 年 10 月より岡山県診断士会に入会させて頂きました高橋宏和と申します。現在大阪府に居住し、企業内診断士として装置製造にたずさわっております。実は平成 25 年 10 月の診断士登録以降この協会にも所属していなかったのですが、この度岡山県出身の両親が里帰りすることになり入会させて頂きました。早速運営委員や事務局の方々から親切にお声掛け頂き、感謝感激です。

父の故郷は近所の寄島自然海岸や沙美海水浴場から瀬戸内海の美しい景色が広がり、また国立天文台や仁科会館なども近く好奇心が刺激されるところです。母の故郷は山の斜面一杯にブドウ畑が広がる素敵なおところです。そのような地域の更なる活性化に貢献し岡山へ恩返しすることができれば、またそこで学ばせて頂いたことを日々の仕事にも活かしていければと思っております。

診断士としてまだまだ未熟者ですので、先輩会員の先生方からご指導を頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

■□赤田 啓介□■

はじめまして。平成 27 年 11 月より、岡山県中小企業診断士会に登録させていただきました赤田啓介と申します。

大学卒業後、総合電機メーカーのグループ会社（萬世電機㈱）に入社し、情報システム構築に従事。情報システム構築のステージから ERP 導入コンサルティングなど事業システム・企業システムの企画に関わるステージへ移っていく中で、中小企業診断士の存在を知りました。

直近では、ベンチャー企業として ORIC へ入居し事業開発・運営を行っていましたが、ORIC も卒業し、今、ちまたで話題の「下町ロケット」の佃製作所ではないけれど、地元で「活力ある企業」をより多く輩出するために支援していきたいと、診断士資格を取得し独立したいです。

過去の経験から、情報化支援、製造業での業務改革、ISO9001 導入支援など、今まで培ってきた経験・知識・能力を最大限発揮しつつ、新たな知識も身につけて、地域に貢献したいと思っております。

中小企業診断士としては、まだまだ未熟ではございますが、先輩会員の皆さま、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。

更新研修修了

日時 平成 27 年 9 月 19 日（土）13 時～17 時

場所 岡山コンベンションセンター
レセプションホール

受講者数 170 名

＜必須科目①＞「新しい中小企業施策について」
中国経済産業局中小企業課

総括係長 佐渡 克利 氏

＜必須科目②＞

「岡山県の中小企業施策」

岡山県産業労働部経営支援課

課長 白神 達夫 氏

＜演習＞

「起業・創業の支援」

中小企業診断士 安藤 覺 氏

国及び県の施策説明では講師から 1 つ 1 つ丁寧にご説明いただき、理解を深めることができました。

特に国の次年度概算要求説明では、重点化の方針がよく分かり、診断士としての支援の方向性を確認できました。

演習では講師のテンポの良い説明で、研修が活性化しました。

演習内容も充実しており、講師がディスカッション終了を宣言しても、受講者間の白熱した議論は止まない感じでした。

アンケートでも非常に評価の高い演習となりました。



診断士フォーラム

◆◆11月フォーラム 11/9(日)◆◆

テーマ：『学生空手日本一と牧師時代に学んだ人生とビジネスで勝利する秘訣』

～ 経営者に信頼される士業職の勘所とは？ ～

講師：ライフデザインネットワーク

代表 エグゼクティブコーチ

藤井恵嗣 氏 氏

内容：多くの経営者にとって、ビジネスで勝ち続けることはご自分の「人生」や「生き方」と直結しています。また会社は彼らにとってチームであり、経営者は監督（コーチ）です。

従って、経営者の信頼を勝ち取るには、ビジネス的な知識や理論、士業としての専門分野だけでは困難です。

経営者の信頼を勝ち取り、その人生とビジネスをサポートさせていただく士業職であるためには、専門知識はもちろんですが、監督職の苦悩への共感能力、チームを牽引する勘所、人生や生き方に関する原理原則などの情報提供が必要です。

そこで今回は、私自身が世界一の指導者と言われた空手師範から学んだこと

- ▶拓大空手部は、なぜ全国大会連覇を何度も成し遂げたのか？
- ▶世界中のナショナルチームからのオファーを断った監督から学んだ勝ち続ける3つの秘訣
- ▶弱点克服より強み強化と型にはめない指導法の強み

などを中心に、牧師として、プロコーチとして多くの人の人生に寄り添ってきた経験からの「人生」や「生き方の原理原則」と思えるお話をいただきました。



◆◆新春フォーラム 1/10(日)◆◆

時間：15:00～17:00

場所：ピュアリティまきび

テーマ：診断士業務を円滑に進めるための「銀行折衝の勘所」

講師：大分県協会 会員 炭本 典生 氏

内容

- ①銀行が頭を悩ませていること
- ②「405事業」の現状
- ③「実抜計画」と「合実計画」
- ④「格付制度」と「自己査定」
- ⑤「債務償還年数」と「実質債務超過の解消見込み」
- ⑥中小企業の債務者区分の注意点
- ⑦中小企業のライフサイクル
- ⑧中小企業のニーズに応える中小企業診断士とは

★今後のフォーラム予定★

(H28) 3/13、5/8

フォーラムで発表等、ご希望の方は、事務局までご相談ください。

新年会のご案内

◆◆新年会 1/10(日)◆◆

時間：17時～19時

場所：ピュアリティまきび

会費：5,000円

多くみなさまのご参加お待ちしております。
よろしくお願いいたします。

研究会事業の活動

●○地域活性化研究会○●

本研究会は、地域活性化を主題として地域経済や中小企業の振興等、中小企業診断士として支援、もしくは提言できるテーマを選定し、調査研究活動を行っています。現在8名（荒木、安藤、小川、大西、太田、加藤、津田、松本）で活動を行なっております。

平成27年度は「道の駅」に関する調査研究を行っています。8月から9月にかけて、先進的な道の駅への視察や地元岡山の道の駅の視察をメンバーで手分けして実施しました。現在、報告書としての取りまとめ作業を実施中です。今後の道の駅他小売業等の支援にとって有益な調査報告となるのではないかと考えています。なお、本調査結果については来年の診断士フォーラムで皆様にご

報告できると思います。

本研究会は、平成 17 年に発足してから現在まで、会員の積極的な参画のもと、地域活性化に寄与できる調査研究活動を継続しています。

2 年に 1 回のペースで調査研究事業を行っておりますので、活動はかなりハードですが、本研究会にご興味・ご関心ある方は、是非お声掛けください。

●○循環ビジネス研究会●○

循環ビジネス研究会は岡山県・岡山市の産業廃棄物診断を行っており、今後も真摯に行って行きます。産業廃棄物・リサイクル事業に関して、最近状況が大きく変化しています。今後も視察を通して知識の補充を行いたいと考えています。

先日、下記のとおり玉島ハーバーアイランドで視察を行いましたので、ご報告します。なお、玉島ハーバーアイランドの西端の 16ha はエコパークに指定されており、岡山県で 1 社しかない技術を持っている企業を誘致しています。現在 3 社が立地しており、誘致企業の審査が厳しさを理解できます。

【見学記】

見学先

株式会社カワナカ 環境事業部

(西日本循環型エコタウンセンター)

メンバー 岡田先生、黒江先生、黒田先生、藤原
日時 2015 年 11 月 24 日(水)10:30～

内容

賞味期限切れの弁当等やスーパー等で加工したバナナやパイナップルの皮等の残差を乾燥させ、燃料化している工程を視察した。生産した燃料を使って、廃食品を乾燥させる。食品リサイクル法は単独では事業化できず、地元自治体が条例を変更しなければ対応できない。バナナの皮は一般家庭でも排出され、一般ゴミとして分類されるため、事業所から排出されるバナナの皮を産業廃棄物と認定に地元自治体の協力の必要がある。

賞味期限の切れの弁当等はそのまま破碎、乾燥し、食品とプラスチックに分ける。プラスチックの量を調整することにより、燃焼した時に木質ペレット並みの熱量になるように調整している。燃料はペレットに加工し、J F E スチール等に販売している。発生した灰は食品残渣と一緒に発酵させ堆肥化させている。実に合理的である。視察企業はもとよりリサイクル機器を生産・販売を目的として設立され、実際に食品リサイクルを行うことで販売を伸ばしている。廃棄物処理業者のみならず、建設業者の新規事業としても売上を

考えている。今後は廃棄物発生企業での使用を考え、生産した燃料を使って蒸気や発電を行う装置も考えている。



●○ソーシャルビジネス研究会●○

8 月 9 日(日)に第 1 回目の研究会をゆうあいセンターで開催しました。

ゲストに岡山 NPO センター 地域連携センター 所長 高平 亮氏をお招きし『岡山 NPO センターの役割と岡山県内のソーシャルビジネスの状況と補助金』についての講話をいただきました。

次回についてはソーシャルビジネス事業者をお招きして、取り組み状況等についてお話いただく予定にしております。

近隣協会との合同研修会開催

◆開催日時：2015 年 10 月 11 日(日)

13:30～17:00

◆研修会内容

視察場所

①「イオンモール岡山店」店舗内見学

13:15～15:00

②奉還町商店街見学 15:10～16:10

③奉還町商店街内「りぶら」にて意見交換

16:10～17:00

◆交流会 17:15～19:30

会場「だんだん畑」岡山市北区奉還町 1-2-12

◆参加者：岡山県中小企業診断士会 14 名

(児玉、黒江、松本、下林、大西、額田、難波、田中、加藤、荒木、国米、大林、窪田、安藤)
香川県中小企業診断士協会 7 名

◆感想

(1)「イオンモール岡山店」見学では、香川県中小企業診断士協会からの参加者は初めて来たという人が多く、その店舗規模の大きさには驚かれていた。

ただ、車での来店客が少ないため購買金額は予想より少なく、出店した企業のほとんどが赤字になっているという噂がでている。

写真① イオンモール岡山店全景



- (2) 奉還町商店街は日曜日にもかかわらず、閉店しているお店が多く人通りもまばらであった。
ただし、この商店街の特徴として平日の方がにぎわっているとのことである。

写真② 奉還町3丁目商店街



- (3) 「りぶら」での意見交換会
子供時代より「奉還町商店街」を知る児玉会長より「奉還町商店街」の変遷について資料配布と共に説明があった。近年、新規開店する店舗も増えつつあるようである。
- (4) 懇親会
岡山県中小企業診断士会 12 名、香川県中小企業診断士協会 5 名の参加で、お互いの懇親を深めることが出来た。

写真③ 懇親会風景



無料相談会

◆しんきん合同ビジネス交流会

日時：平成 27 年 9 月 9 日（水）開催

場所：コンベックス岡山



<相談内容>

和菓子製造・小売り業
相談内容

○今後の方向性と事業承継

○売上増加策

相談員は黒田俊彦さんと國米泰弘さんにお願いしました。

◆士（さむらい）業 集まる！

平成 28 年 10 土業合同無料相談会（開催予定）

日時：平成 28 年 1 月 25 日（月）9:30～16:00

場所：岡山市役所、倉敷市役所、津山市役所

相談業務内容

創業・開業相談、経営計画立案（経営革新、経営改善、企業再生）、新分野進出など

受託事業

◆市、県、その他の相談員・講師派遣

- ・岡山市（起業家塾フォローアップ、企業相談）
平成 27 年 11 月末まで 件数 8 件
- ・岡山市（経営計画作成）
平成 27 年 11 月末まで 件数 20 件
- ・倉敷市（経営相談）
平成 27 年 11 月末まで 件数 80 件
- ・新見市（経営相談）
平成 27 年 11 月末まで 件数 6 件
- ・岡山県森林組合連合会
森林組合監事研修講師派遣 件数 1 件
- ・岡山県森林組合連合会
林業事業体経営診断 件数 3 件
- ・岡山県信用保証協会（専門家派遣）
平成 27 年 11 月末まで 件数 37 件
- ・岡山県産廃診断
平成 27 年 11 月末まで 件数 2 件
- ・岡山県生活衛生営業指導センター（経営相談）
平成 27 年 11 月末まで 件数 8 件
- ・ポリテクセンター岡山（平成 28 年 3 月実施）
離職者訓練講師派遣 件数 1 件

◆平成 27 年度 林業経営診断PJ

林業経営診断事業も今年度で 3 年目になります。今年度は、「新規の林業事業体に限定」という制限が加わったため、3 事業体の経営診断となりました。

内容は、森林組合が 1 件、民間事業者が 2 件です。共に、人材育成を通じて、業務を改善する仕組みづくりがテーマです。

平成 28 年 1 月末までに報告書を作成することになっております。

11 月末現在で、ほぼ 60% 程度の進捗状況となっており、1 月末には完了する見込みです。

◆人材不足分野における人材確保のための雇用管理改善促進事業 (中間報告)

今年度、厚生労働省岡山労働局より「人材不足分野における人材確保のための雇用管理改善促進事業」(啓発実践コース)を受託しました。本事業では、建設業の魅力ある職場づくりを支援するための雇用管理セミナー・個別相談を行うとともに、県下で積極的に魅力ある職場づくりを行う事業所を好事例としてパンフレットにまとめ、公表する予定となっています。

建設業の魅力ある職場づくりのために、17 名の中小企業診断士と 3 名の社会保険労務士の皆様に、人事制度・教育訓練制度・就業規則や福利厚生制度等の支援を行っていただいております。相談先および受託先からも高い評価を得ており、多くの事業所の魅力ある職場づくりへの取り組みを後押しできています。

なお、本事業の成果を広く公知するために、平



成 28 年 3 月 4 日に魅力ある職場づくりに関するセミナーを開催いたします。県下有数の中堅建設業の経営者による基調講演と、好事例事業者によるパネルディスカッションを行います。詳細は後日お知らせいたしますが、診断士会の皆様におきましても、ご聴講いただけますと幸いです。

企業内診断士事業

診断実務従事事業に代わり、企業内診断士が、実務に携わり実務従事ポイントを獲得できる活動を検討しています。単にポイントを得るだけでなく、中小企業診断士として、実務経験を積める機会を積極的に探したいと思います。

現在 10 名弱のメンバーですが、診断士としての熱意はプロコンの先生方に負けません！プロコンの皆様、「こんなのどう？」という実務従事の間があれば、ぜひご紹介をお願いします！

担当運営委員 栗原 茂

ノウハウ事業承継事業

ノウハウ事業承継事業がスタートしました。ベテラン診断士のハイレベルなノウハウを、診断士会としてお預かりし、少しでも発展させて次代へ繋げるという目的の事業です。

講師は岡田貞夫先生。ものづくり現場改善では全国を代表するプロフェッショナルです。

第一回は平成 27 年 12 月 6 日(日)に、診断士会事務局のある岡山商工会議所 816 号室にて実施しました。

受講者は 7 名。プロコンだけでなく企業内診断士もメンバーです。

第一回は座学でした。岡田先生著の書籍を題材に重要ポイントの解説をいただきました。

著者に解説いただいたことで、行間の重要事項が良く理解でき、受講者全員が大満足と充実の 4 時間でした。

第二回は演習。第三回以降は企業での実践を予定しています。

岡田先生のノウハウをそのまま継承することは不可能ですが、受講者全員で少しでも継承できること増やし、発展させて次代へ繋ぎたいと思っています。

プロコン養成のステップアップ研修に参加して

実施日：平成 27 年 9 月 26、27 日（土、日）
場 所：観音寺市 かんぼの宿観音寺
主 催：一般社団法人中小企業診断協会
人材育成ワーキング委員会
研修受託機関：一般社団法人
香川県中小企業診断士協会
参加者：14 名

岡山県からは荒木さん、難波さん、田中さんの
3 名の方が参加されました。



◆参加レポートより

【会員 田中 久展 氏】

中小企業診断士に登録して半年が過ぎ、プロコンとして独立したものの期待と不安が入り混じって具体的に何をすれば良いのかが全く見えていない状況でした。何か学びたい、自分を奮い立たせるきっかけが欲しいと思っていたところ、諸先輩等からの推薦もあり今回の「スキルアップ研修」に参加しようと決意いたしました。カリキュラムに掲げられている、「グループワーク形式やケーススタディ」についていけるかがとても不安でしたが、一緒に参加したメンバーにとっても恵まれたこともあり大変刺激になる研修でした。

まず、山下先生の講習で、独立当初は「質」を上げるには結局「量」をこなすしかなく、「第1ステージ」（アーリーステージ）においては「誰にも負けない努力をする」「依頼されたら断らない」「とにかく打席に立つ」といったお話を頂き、シンプルにそうしていこうと感銘を受けました。年収 3 千万超を長く実践されて、他にもそうした人財を育成してこられた山下先生の教えなので、自分には到底無理と言って目を背けず、段階的に「第2ステージ」「第3ステージ」を見据えながら今やるべき事、やらなければいけない事に注力していく覚悟ができました。

次に、山崎先生の講習では企業にコミットし実効支援につなげていくという教えを頂きました。企業を成長させるには経験・体験が必要である。

しかし個々の企業によって様々な背景があるから普遍性がない。経験・体験は貴重ではありベースにはなるが普遍性を担保する＝成功する共通点を見つけていかなければならないという過程です。この普遍性を自分の中に落とし込んでいく道はまだまだ遠いですが山下先生と同様、結局は経験・体験を積み重ねることではしかないように感じました。

最後に、岩倉先生はケーススタディを用いた研修で、二つの事例を基にグループ毎に支援策を考えるものでした。他のグループの発表でテクニックを学んだり、同じ不ループ内でも個々の参加メンバーによって違う視点を持ち、複合的に支援策を模索していく面白さを感じました。

夜の食事会やコンパでは、諸先輩方の貴重な経験談や仕事に対する心構えを聴かせていただき、励みになったし身の引き締まる想いでした。

研修は、学ぶことがゴールではなく学んだことを実践していくことこそ大切なので、一緒に学んだ診断士仲間や教えていただいた三人の先生に成長した姿を見ていただけるよう頑張っていきます。

そして「年間売上高＝お役立ち度」をしっかりと伸ばしていきます。
有難うございました。

書籍のご紹介

《1》『経営者になるためのノート』

柳井 正 氏 著

《ファーストリテイリング

代表取締役会長兼社長》

柳井正が語る仕事に必要な 4 つの力とは？

ユニクロ幹部社員が使う門外不出のノート。

欄外に気づきを書き込めば、自分だけの一冊に。

（PHP 研究所ホームページより）

《2》『新 1 分間マネジャー部下を成長させる 3 つの秘訣』

ケン・ブランチャード 氏 著

スペンサー・ジョンソン 氏 著

金井壽宏 氏 監訳/田辺希久子 氏 訳

30 年以上世界中で読まれてきた上司のための教科書が、生まれ変わった。短期間で目覚ましい成果を上げる「新 1 分間マネジャー」はどんな手法を使っているのか。「1 分間目標」「1 分間称賛」



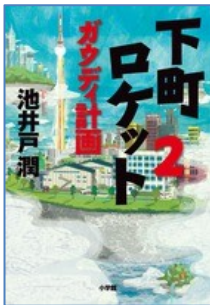
「1 分間修正」の 3 つの秘訣で、部下のやる気を高め、自発的に動ける社員に変える。寓話形式だから、短時間で簡単にわかる。

(ダイヤモンド社ホームページより)

《 3 》『下町ロケット 2』

池井戸 潤 氏 著

直木賞受賞作に待望の続編登場！
その部品があるから救われる命がある。



ロケットから人体へ——。
佃製作所の新たな挑戦！
ロケットエンジンのバルブシステムの開発により、倒産の危機を切り抜けてから数年——。大田区の町工場・佃製作所は、またしてもピンチに陥っていた。

量産を約束したはずの取引は試作品段階で打ち切れ、ロケットエンジンの開発では、NASA 出身の社長が率いるライバル企業とのコンペの話が持ち上がる。そんな時、社長・佃航平の元にかつての部下から、ある医療機器の開発依頼が持ち込まれた。「ガウディ」と呼ばれるその医療機器が完成すれば、多くの心臓病患者を救うことができるという。しかし、実用化まで長い時間と多大なコストを要する医療機器の開発は、中小企業である佃製作所にとってあまりにもリスクが大きい。苦悩の末に佃が出した決断は……。

医療界に蔓延る様々な問題点や、地位や名誉に群がる者たちの妨害が立ち塞がるなか、佃製作所の新たな挑戦が始まった。

日本中に夢と希望と勇気をもたらし、直木賞も受賞した前作から 5 年。

遂に待望の続編登場！

(小学館ホームページより)

事務局からのお知らせ

◆認定経営革新等支援機関（認定支援機関）になりました。

認定号（認定日）：

第 30 号認定（2015 年 12 月 2 日）

店舗名：一般社団法人岡山県中小企業診断士会

認定支援機関種別：一般社団法人

具体的相談内容

創業支援、事業計画作成支援、事業承継、M&A、生産管理・品質管理、情報化戦略、知財戦略、販路開拓・マーケティング、人材育成、人事・労務、物流戦略、金融・財務



Web サイト

URL: www.optic.or.jp/o-smeca



編集後記

今年度は、いろいろな機関から経営診断の依頼があり、会員の皆様へお願いすることが多くなりました。

依頼をお願いすれば、快くお引き受けいただけるので、事務局としてはホッとしております。

12 月には認定支援機関の承認も取れましたので、ますますお仕事の幅が広がるのではないのでしょうか。

その時は、またよろしくお願いいたします。

来年は申年です。

さる物は追わず、来る物は快くお引き受けしてますます成長していきましょう。

来年もよろしくお願いいたします。

会員の消息

<新会員>

高橋 宏和 氏

赤田 啓介 氏



岡山県診断士会会報 第 8 号
平成 27 年 12 月 15 日 発行
一般社団法人岡山県中小企業診断士会
〒700-0907 岡山北区厚生町 3-1-15
岡山商工会議所ビル 8F
Tel 086-225-4552 Fax 086-225-4554
発行人 会 長 児玉 健治
編集人 専務理事 黒江 正行